

中期経営計画進捗

リコーリースグループは、2023年度より3ヵ年の中期経営計画を開始しました。1年目である2023年度は、財務目標については特別損失を除くと順調な進捗となりました。また、非財務目標については項目により濃淡がありますが、それぞれの課題を踏まえ、目標達成に向けた取り組みを進めていきます。

中期経営計画の位置づけ

	2017~2019年度	2020~2022年度	2023~2025年度	
中計テーマ	“「リース」の先へ”	『循環創造企業へ』		
主要戦略(抜粋)	<ul style="list-style-type: none"> ベンダーとのアライアンス強化と顧客網の最大活用による揺るぎない営業基盤づくり 創エネ、省エネを軸とした新たな環境分野への挑戦 社会の変化に対する課題を解決するための金融サービスの開発と提供 	<ul style="list-style-type: none"> ベンダーリースのさらなる進化と顧客提供価値の強化 環境循環に根ざしたクリーンな地球環境への貢献 レンタル事業の再構築 アセットに抛らないビジネスの拡大 高品質・高効率化を追求する基幹システムおよび業務体制の構築 社員の幸福を会社業績拡大につなげる人材マネジメント ガバナンス強化 	<ul style="list-style-type: none"> 新たなビジネスモデルへの挑戦 事業&サービス付加による多様化 効率を伴うさらなる拡大 事業成長につながるチャレンジの促進および組織の活性化 社会変化に合わせた柔軟なシステムおよび業務体制の構築 関係会社を含めたガバナンス強化 	
財務指標		2019年度	2022年度	2025年度(中計目標)
	営業利益	170億円	212億円	235億円
	当期純利益	118億円	148億円	160億円
	ROA	1.08%	1.23%	1.1%以上
	ROE	6.6%	7.2%	7%以上
	配当性向	23.5%	30.1%	40%以上

事業成長戦略

戦略	事業分野	施策
新たなビジネスモデルへの挑戦	as a Service	<ul style="list-style-type: none"> DaaS (Device as a Service) による、大手顧客への価値提供 リース商材をはじめとした、as a Service化に向けたアライアンス強化
	BPO	<ul style="list-style-type: none"> 集金代行サービスのさらなる取り扱い拡大と、決済周辺サービス拡充 海外からのビジネス渡航需要を捉えたサービス提供の拡大
事業&サービス付加による多様化	不動産	<ul style="list-style-type: none"> 多様な資産積み上げと、資産価値を向上するサービスの開発
	環境	<ul style="list-style-type: none"> 発電所のアセットマネジメントサービスを含めた、事業の多様化 他電源へのチャレンジ、および蓄電池分野の研究
	介護	<ul style="list-style-type: none"> Welfareすずらの事業運営と、業界ノウハウの蓄積

効率を伴うさらなる拡大

当社の成長を支える最重要基盤

- オフィス
- 医療・ヘルスケア
- 設備投資

組織能力強化戦略

戦略	施策
事業成長につながるチャレンジの促進および組織の活性化	<ul style="list-style-type: none"> 挑戦する人材の育成、および挑戦する風土の醸成に資する制度の強化 変化する外部環境に柔軟に対応する制度の構築と、多様な人材が活躍できる組織づくり
社会変化に合わせた柔軟なシステムおよび業務体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> リース関連業務システムの順次切り替えによる、自動化および効率性の向上 インフラの刷新とサイバーセキュリティの強化 IT管理・統制の向上によるITガバナンス強化
関係会社を含めたガバナンス強化	<ul style="list-style-type: none"> 外部とのコミュニケーションを通じた、サステナビリティ経営の進化 グループ各社との連携強化と、戦略統合を通じた事業拡大

中期経営計画の数値目標

	2023/3期		2024/3期		2026/3期 中期経営計画目標
	実績	特殊要因 除く実績 ^{※1}	期初計画	実績	
営業利益	212億円	200億円	206億円	210億円	210億円
当期純利益	148億円	140億円	144億円	112億円	148億円
ROA(純利益/総資産)	1.23%	1.17%	1.15%	0.91%	1.20%
ROE(純利益/自己資本)	7.2%	6.8%	6.7%	5.2%	6.9%
配当性向	30.1%	—	32.1%	41.0%	—

※1 コロナ関連レンタル特需(レンタル延長収益: +11億円)による一過性の利益を計上

※2 特別損失(投資有価証券評価損: △51億円)による一過性の損失を計上

マテリアリティ	項目	2023/3期実績	2024/3期実績	2026/3期目標
クリーンな地球環境をつくる	環境分野への累計資金投下額 ^{※3}	2,720億円 ^{※6}	3,138億円	4,000億円 (2026/3期まで)
豊かな暮らしをつくる	集金代行稼働サービス数	16,682サービス	17,861サービス	20,000サービス
持続可能な経済の好循環をつくる	重点3分野契約実行高 ^{※4} (建機・車両・農業)	320億円	303億円	450億円
ハピネスな会社、そして社会をつくる ^{※5}	エンゲージメントスコア (年間平均)	72点	71点	75点
	女性管理職比率	23.0%	21.8%	25%
	一人当たり教育費	39,730円	40,016円	55,000円

※3 再生可能エネルギー分野におけるリース・割賦の契約実行高、および太陽光発電事業、エクイティ投資額の累計実績

※4 リース: 取得した賃貸用資産の取得金額、割賦: 割賦債権から割賦未実現利益を控除した額

※5 実績・目標はリコーリース単体

※6 環境関連融資を精査し、2,703億円から2,720億円に遡及修正